

大田区消防団運営委員会の諮問事項に対するアンケート（案）

本アンケートは、「変化する社会情勢に適應し、特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に應え続ける方策はいかにあるべきか」の諮問に対して、大田区の特長なども踏まえながら、消防団の組織力を向上させ、住民の負託に應え続けるための具体的な方策について検討するための資料として、消防団員の意見を伺うものです。

1 対象者

大田区内全消防団員

2 回答期限

令和6年●月●日まで

3 回答方法

- (1) 設問に対し、【複数回答可】とあるもの以外は、最も妥当と思われる番号に○をつけて回答してください。
- (2) 記載欄がある場合は、簡潔に記載してください。

1 フェイスシート

あなたについて教えてください。

Q1 あなたの階級は？

- 1 団員 2 班長 3 部長 4 副分団長 5 分団長以上

Q2 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～24歳 | 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40～44歳 | 7 45～49歳 | 8 50～54歳 |
| 9 55～59歳 | 10 60～64歳 | 11 65～69歳 | 12 70～74歳 |
| 13 75～79歳 | 14 80～85歳 | 15 85歳以上 | |

Q3 あなたの性別は？

- 1 男性 2 女性 3 回答しない

Q4 あなたの入団形態は？

- 1 在住 2 在勤 3 在学 4 その他

Q5 あなたの職業は？

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 自営業主 | 2 家族従業（家業手伝い） | 3 勤め（フルタイム） |
| 4 勤め（パートタイム） | 5 主婦・主夫 | 6 学生 |
| 7 その他 | | |

2 入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について

あなたのご意見を教えてください。

Q1 あなたが消防団活動で、やりがいを感じる活動は？ 【複数回答可】

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 各種災害活動 | 2 警戒活動（祭事等） | 3 防火防災訓練指導 |
| 4 救命講習等指導 | 5 災害対応訓練 | 6 規律訓練 |
| 7 操法大会 | 8 消防団点検・始め式 | 9 広報活動 |
| 10 その他（ | | ） |

Q2 あなたが消防団活動で、**最も**やりがいを感じる活動は？

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 各種災害活動 | 2 警戒活動（祭事等） | 3 防火防災訓練指導 |
| 4 救命講習等指導 | 5 災害対応訓練 | 6 規律訓練 |
| 7 操法大会 | 8 消防団点検・始め式 | 9 広報活動 |
| 10 その他（ | | ） |

Q3 資格取得講座等で、受講者数の拡充など充実してほしいものは？ 【複数回答可】

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|
| 1 普通救命講習 | 2 上級救命講習 | 3 応急手当指導員講習 |
| 4 応急手当普及員講習 | 5 二級小型船舶操縦士講習 | |
| 6 第三級陸上特殊無線技士要請講習 | 7 可搬ポンプ整備資格者特例講習 | |
| 8 惨事ストレス対策団員要請講座 | 9 健康セミナー | |
| 10 危険予知訓練研修 | 11 英会話技能講習 | 12 手話技能講習 |
| 13 ハラスメント防止講習 | 14 幹部研修（消防学校） | 15 機関科研修（消防学校） |
| 16 警防科研修（消防学校） | 17 女性消防団員研修（消防学校） | |
| 18 その他（ | | ） |

Q4 資格取得講座、研修等で、行ってほしいものは？ 【自由記載】

（例）重機操作（小型移動式クレーン）、防災士養成講習、危険物乙種第4類講習など

Q5 あなたが職業やこれまでの経験から、他の団員にできる講話や講習はありますか？ 【自由記載】

（例）被災地での活動経験、チェーンソーの取扱指導、重機の取扱指導、積載車の運転指導など

3 計画的な人材育成方策について

あなたのご意見を教えてください。

Q1 教育訓練で必要と思うものは？ 【複数回答可】、【自由記載】

- 1 各任務班に応じた、具体的な訓練の到達目標の提示
- 2 可搬ポンプ操法訓練（操法大会）での、基本的な消防活動技術の習得
- 3 訓練の到達状況を管理できるシステム
- 4 訓練の到達状況を識別できる標示（ワッペン、ヘルメットへの表示等）
- 5 上位の階級への補職時に、階級に応じた訓練の到達を条件化
- 6 訓練の到達状況を確認する操法大会以外（救助、救命など）の審査会を実施
- 7 教育訓練を指導できる消防団員の育成
- 8 消防団員が他の団員を教育訓練するためのマニュアルの整備
- 9 消防署、方面訓練所、消防学校などの教育訓練場所の開放
- 10 その他（)

Q2 あなたが行いたい訓練の上位5つを回答してください？

- 1 可搬ポンプ操法訓練（操法大会）
- 2 放水訓練
- 3 可搬ポンプ運用訓練
- 4 救助救出活動訓練
- 5 応急救護訓練
- 6 救助資器材取扱い訓練（チェーンソー、スプレッターなど）
- 7 照明資器材取扱い訓練（投光器など）
- 8 無線運用訓練
- 9 防水シート展張訓練（水損防止など）
- 10 水防工法訓練
- 11 車両運行訓練
- 12 ロープ結索訓練
- 13 規律訓練
- 14 防火防災訓練指導要領訓練
- 15 応急救護指導要領訓練
- 16 その他（)

4 活動環境の改善方策について

あなたのご意見を教えてください。

Q1 現在の消防団専用タブレットに導入してほしい機能はありますか？【自由記載】

(例) 個人のスマホと連携できる機能、出勤記録の管理、報酬等のデジタル明細など

Q2 今後、導入してほしい資器材、改善してほしい資器材はありますか？【自由記載】

(例) 電動アシスト付可搬ポンプ台車、ガンタイプノズル、無線機の統合など

Q3 前回、特別区内全体の答申として、「手引き可搬ポンプ台車の軽量化、コンパクト化、電動化」が示されています。手引き可搬ポンプ台車を改良すると、現行の「特別区消防団可搬ポンプ操法」を変更する必要がありますが、最も近い意見はどれですか？

- 1 改良後の台車にあわせて可搬ポンプ操法を改正すればよい
- 2 台車の仕様に影響を受けないよう、都大会においても、全国大会の台車を使用しない可搬ポンプ操法で行えばよい
- 3 現行の可搬ポンプ操法に影響がないよう、一部、改良前の台車を残せるよう、改良台車の配置を制限すればよい
- 4 可搬ポンプ操法に影響がでるから、改良はしない方がよい

Q4 消防団員が災害活動に従事する意識を更に向上させる方策で有効だと思うものは？【複数回答可】、【自由記載】

- 1 出火報等の災害伝達を、より迅速、確実に行うシステムの導入
- 2 出火報での出場における、可搬ポンプでの水利部署を必須化
- 3 活動内容に応じた費用弁償の支給や、年額報酬への加算制度の導入
- 4 出場回数及び従事回数の応じた表彰制度の導入
- 5 その他（)

5 その他、意見がありましたらお聞かせください【自由意見】